

宜野湾市地域学校協働本部(宜野湾市)

構成学校	市内9小学校、4中学校(普天間小学校、普天間第二小学校、大山小学校、大謝名小学校、嘉数小学校、志真志小学校、宜野湾小学校、長田小学校、はごろも小学校、普天間中学校、真志喜中学校、嘉数中学校、宜野湾中学校)				
開始年度	平成21年	登録ボランティア	60人	地域学校協働活動推進員等(コーディネーター)	10人
地域学校協働活動推進員等(コーディネーター)	の配置場所	市内小中学校	連携機関・団体	PTA、自治会、地域農家の方など	

◆代表的・特徴的な活動

- ・給食配膳の補助(1年生)
- ・家庭科でのミシン操作補助、ナップザック作り
- ・体験学習、キャリア教育の企画・支援
(手話講座、レンコン教室、環境に関する講座、臨床美術講座、マナー学習、うちなあぐち講座、エイサー指導など)
- ・水あそび(1年生プール授業)、着衣水泳教室の支援
- ・交通安全見守り
- ・校医検診の補助
- ・畑づくり、校内環境整備
- ・学習支援活動(地域未来塾。個別・授業に入っの補助等)



給食配膳の補助
(普天間小学校)



大綱引き絵のコンクール
(大山小学校)



レンコン教室
(はごろも小学校)



マナー講習会
(真志喜中学校)

◆工夫していること

- ・地域学校協働活動推進員間の情報交換の場を設けている(定例会、SNS)。
- ・コーディネートスキルアップのため、国・県などから紹介されたオンライン講座・研修を推進員に紹介している。
- ・地域の多様な人や資源をつなげる「地域コーディネーター養成講座」(市・市教育委員会共催)に参加を呼びかけている。



第1回定例会
(兼委嘱式)

◆成果と課題

- 【推】推進員間においてSNS等の活用により情報共有がスムーズになっている。また、推進員間のサポートも増えてきている。
- 【推】小規模だが、ボランティア育成の活動も行っている推進員がおり、今後の広がりに期待している。
- △【本部】学校での協働活動についての認知度・推進員の活用は広がってきているが、地域の認知度はまだ低い。更なるPRが必要と感じている。
- △【学校・本部】推進員の後任人材発掘に苦慮している。
- △【推・学校・本部】コロナ感染症の影響により、ボランティア活用がうまく出来なかった。

浦添中学校区地域学校協働本部(浦添市)

構成学校	浦添中学校・浦添小学校・前田小学校				
開始年度	H24年	登録ボランティア	67人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	3人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	各学校	連携機関・団体	PTA・自治会・老人会・婦人会・民生委員	

◆代表的・特徴的な活動

- ・校区の自治会員の方が協力して朝の登校指導(立哨活動)を行っている。
- ・民生、児童委員による多動行動のある児童の見守り
- ・毎週月曜日に朝の読み聞かせをリモートで実施
- ・校内美化、花の植え替え、草刈り作業の協力
- ・稲の植え替え、脱穀、精米までの学習支援
- ・おやじおふくろの会との連携活動(朝活のじゃがいも畑作業、環境整備)

◆工夫していること

- ・小学校区の自治会長に立哨協力してくれる方の募集依頼
- ・他の小学校コーディネーターと情報交換
- ・民生、児童委員と協力して児童の見守り、情報共有を行っている。
- ・ネットワークを広げ中学校区の自治会、婦人連合会との連携をとっている。
- ・地域連携担当職員、管理職との情報交換や要望を聞くなどをおこなっている。

◆成果と課題

- 【コ】小学校区の自治会と連携が取れるようになった。
- 【コ】朝の立哨で児童から元気に「おはようございます。」の挨拶を受け元気をもらえる。
- 【学・コ】運動会前や140周年式典前に校内美化の協力ができた。
- △【コ】コロナ感染防止のため学校へ行く機械も少なく連絡待ちの状態だった。

仲西中学校区地域学校協働本部(浦添市)

構成学校	仲西中学校・仲西小学校・宮城小学校・浦城小学校				
開始年度	H23年	登録ボランティア	人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	4人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	各学校	連携機関・団体	自治会・婦人会	

◆代表的・特徴的な活動

- ・読み聞かせ・・・自治会、婦人会、地域の方々、保護者の協力を得て活動
- ・校内美化・・・地域の方々の協力を得て、週1回の校内美化活動
- ・黒糖作り・・・地域の方々の協力得て、校内農園に、サトウキビ苗植え付け →収穫→黒糖作りまでの支援活動



◆工夫していること

- ・読み聞かせ活動をする上で、地域の方々との繋がりを継続する為に、ビデオ撮影を行った。(コロナ対策)
- ・中学校区でのコーディネータ情報交換、ボランティア人材の情報共有等をLINEグループにて行った。(コロナ対策)
- ・今年度は、密の状態を避けながら、地域の方との繋がりを継続する為に、環境整備を中心に行った。(コロナ対策)
- ・支援者の方々のご協力頂く様子を学校へ報告を行い、学校新聞に掲載してもらうことで、支援者の方々の活動を広く広報した。

◆成果と課題

- 〈成果〉
 - ・環境整備を継続的に行うことで景観が保たれた。
 - ・コーディネータ間での情報交換を行うことで、苗の寄贈を共有出来た。
- 〈課題〉
 - ・支援に参加頂く方の世代に偏りがある。
 - ・学校側との連携方法に課題を感じる。



神森中学校中学校区地域学校協働本部(浦添市)

構成学校	・神森中学校 ・神森小学校 ・内間小学校 ・沢岬小学校				
開始年度	H20 年	登録ボランティア	86 人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	4 人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	各学校	連携機関・団体	自治会、老人会、婦人会、保存会、民生委員	

◆代表的・特徴的な活動

- ・環境整備ボランティアが倉庫等の整理・点検を行った。
- ・児童会を中心に地域連携の視点で児童センター館長を講師に「土作り、環境作り」を行いSDG'sの取り組みをした。
- ・3学年の「地域を知ろう」で地域の行事や習わしがわかる講演に参加した。
- ・地域伝統の棒、空手指導を受けた。
- ・昔遊びや外国人による英語読み聞かせ
- ・校内外の草花の世話、蝶園整備、祝祭日の動物の世話、草刈り、ジャガイモの植え付けなどの環境整備支援
- ・放課後自主学习教室で生徒へ食事(弁当)を提供した。

◆工夫していること

- ・コロナ感染対策で、各ボランティアとの情報交換、連絡は電話で行った。
- ・ボランティア団体等へ学校の様子を日ごろから伝え、協力願いをしている。
- ・どこで、誰が立哨やあいさつしているかを学校に伝えている。
- ・学校と地域の架け橋となるよう地域行事へ積極的に参加し人脈を作っている

◆成果と課題

- △【コ】コロナ感染拡大で学校行事が中止、縮小になり、ボランティア活動ができなかった。
- 【学・コ】感謝集会はできなかったが、コーディネーターがボランティアの家庭へ感謝状やプレゼントを届けた。
- △【コ】PTAとの連携や情報交換がほとんどできなかった。
- 【学・コ】校長が活動しているボランティアに挨拶やお礼をしたことにより、ボランティアから「うれしかった」の声が聞こえ、ボランティアが増えた。
- △【コ】ボランティアの高齢化、若い世代のボランティアの確保が難しい。

港川中学校区地域学校協働本部(浦添市)

構成学校	港川中学校、港川小学校、牧港小学校				
開始年度	H24 年	登録ボランティア	110 人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	3 人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	各学校	連携機関・団体	自治会、民生委員	

◆代表的・特徴的な活動

- ・総合学習及び生活科での地域人材・地域教育資源の活用
- ・朝の登校時安全立哨活動
- ・地域連携担当教諭との情報交換を定期的に行い、連携が取りやすい仕組み作りを行っている。
- ・第1土曜日ボランティアの日の活動を「花咲かせ隊」と命名し、校門周りや花壇の手入れを行っている。
- ・学習支援として、家庭科の時間に浴衣着付けを地域ボランティアを活用して行った。
- ・応用心理カウンセラーが、特別支援教室の支援を行っている。

◆工夫していること

- ・生活科、総合学習において、年間活動計画の作成を各学年に提出をお願いし、日程調整、先生方と関係機関との事前打ち合わせを行う。
- ・緊急事態宣言発令中も、ボランティアの方と疎遠にならないよう近況報告を兼ねて連絡をとった。
- ・ヘルマーク活動を各自家でやってもらった。
- ・ボランティアの方々に積極的にボランティア登録を依頼した。

◆成果と課題

- 【学校】地域ボランティアの方々へ本校の教育活動が理解され連携して学校教育を推進することが出来た。
- 【学校】地域活動の充実により児童の地域への愛着が深まった
- △【学校】コロナ禍の中の活動では日程調整が厳しい活動もあった。
- 【学・コ】地域ボランティア「花咲かせ隊」活動が軌道に乗り楽しそうに活動している。花壇がきれいになった。
- △【ボ】学校支援を行う事で地域の教育力の向上につながったが、今後の人材発掘が課題である
- 【コ】多くの地域ボランティア、地域教育資源で学校支援の充実が図られた。
- △【コ】学校運営協議会(コミュニティースクール)発足時に人材バンクの充実を図りたい。
- △【コ】ボランティアの高齢化、保護者を含めた地域人材の確保
- △【学・コ】コロナで年間行事がほぼ中止になったため、ボランティア活動の場がなかった。
- △【学・コ】次年度に向けてボランティアの方々为学校に足を運べるように工夫する。

浦西中学校区地域学校協働本部(浦添市)

構成学校	浦西中学校 当山小学校				
開始年度	H20年	登録ボランティア	64人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	1人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)の配置場所	浦西中学校	連携機関・団体	自治会、民間企業、福祉施設、CSW		

◆代表的・特徴的な活動

- ・地域の方々(5人)が朝の登校時の交通安全の確保に参加してくれている。
- ・2学年と地域企業の方々とのトイレ掃除をコロナ宣言解除後に始める。
- ・適応教室の補助として地域の方々(5人)が、コロナ緊急宣言中も衛生面に配慮しながら継続して参加している。
- ・ヤギに花等を食べられないようにするため、地域の方々(5人)で校舎前ステージに柵を作ってくれた。
- ・地域の方々(14人)が運動場周辺の草刈り作業をしてくれた。コロナ緊急宣言中だったので、90分の短い時間で終わった。
- ・コロナ緊急宣言解除後、民生委員の方々(10人)が生徒玄関前で朝の挨拶運動を行っている。

◆工夫していること

- ・緊急事態宣言発令中も、感染対策をとりながら活動を続けた。
- ・宣言解除後直ぐに活動が再開できるように企業との話し合いを行っていた。

◆成果と課題

- 【学校】○地域の方が草刈り機、チェーンソーの修理をしてくれた。
OPTA作業がスムーズに行われた。
- 【コ】○適応教室のボランティアの方々と生徒たちの関係がおばあちゃんと孫の間柄になり穏やかな中で行われている。



緑風学園学校運営協議会(名護市)

構成学校	久志中学校 久志小学校				
開始年度	H30年	登録ボランティア	43人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	2人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	名護市教育委員会	連携機関・団体	PTA、区、美ら島自然学校、JA、漁協、警察署、地元企業、民生委員など	

◆代表的・特徴的な活動

- 登校時安全指導・あいさつ運動(民生委員・児童委員)
- 学校美化作業(緑風グリーンデー)
- 総合・ふるさと学習(二見からしな・地域探検・タマン放流
ウミガメ学習・マングローブ散策・三原川、汀間川調査
稲刈り体験・シークワサー収穫・海の生き物調べ)



4年生
マングローブ散策

◆工夫していること

- 次年度もスムーズに協働活動が実施できるよう、「校外学習プランシート」の作成に取り組んだ。

◆成果と課題

- 【本部】校区内の特色ある地域資源や人材を活用し、地域の良さを実感できる授業や体験学習を実施することができた。
- △【本部】海や川での活動は、潮の満ち引きによる日程調整が必要で、他の学校行事との兼ね合いの調整が大変であった。

屋我地ひるぎ学園学校運営協議会(名護市)

構成学校	屋我地小学校 屋我地中学校				
開始年度	H30年	登録ボランティア	120人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	1人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	名護市教育委員会	連携機関・団体	PTA、区、地域企業、環境省、名桜大	

◆代表的・特徴的な活動

- 読み語り(読み語りボランティア)
- 放課後見守り活動、
- 登校安全指導
- 美ら島タイム(地域資源を活用した総合学習)
(ミツバチ教室、塩づくり、アジサシの観察、
干潟の生き物調べ、サツマイモかずら植え、
屋我地地域巡り、商品開発、職業人講話など)
- エイサー、三線地謡指導



5年生 アジサシ観察

◆工夫していること

- 地域学校起用協働推進員との連絡を密に行った感染症対策を考慮し、オンラインに切り替えることで授業を継続することができた。

◆成果と課題

- 【学】感染症対策を徹底し、活動を実施することができた
- 【学】地域学校協働活動推進員との連絡調整を随時行ったことで、保護者が積極的に学校に来校するようになり、活動の方向性を確認しながら取り組めるようになった。
- △【本部】人材リストの更新に取り組んでいる。

大北小学校学校運営協議会(名護市)

構成学校	大北小学校				
開始年度	R1 年	登録ボランティア	190 人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	0 人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	名護市教育委員会	連携機関・団体	PTA、区、青年会、老人会、警察など	

◆代表的・特徴的な活動

- 朝の見守り・交通安全
- 交通安全教室
- 平和学習
- 部活動指導
- エイサー指導 ○運動会準備作業
- 蝶々園の設置・環境整備作業



全学年 平和学習

◆工夫していること

- コミュニティ・スクールルームを設置した。
- コロナ禍が落ち着いた状況を判断して、今後活用する予定。
- 協働活動を行う際には屋外や体育館などスペースをとる工夫を行った。

◆成果と課題

- 【学】地域の方々と農業体験や朝の見守りなどを通して関わることで、親しみを感じ、日ごろから挨拶や会話をするようになった児童がいる。
- △【学】コロナ禍の中、コミュニティ・スクールルーム（CSルーム）が使えず、地域の方々を学校内へ招くことができなかった。

名護小学校学校運営協議会(名護市)

構成学校	名護小学校				
開始年度	R2 年	登録ボランティア	626 人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	0 人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	名護市教育委員会	連携機関・団体	PTA、区、博物館、美ら島財団、青年会、老人会、GODAC、OIST、警察署社会福祉協議会	

◆代表的・特徴的な活動

- 登校時安全指導 ○朝の読み聞かせ
- クリーン活動、環境整備、PTA美化作業
- 総合学習（講話）イノー、ウミガメ、マングローブ
- 福祉体験 ○プログラミング学習 ○OPA体験
- 平和学習（護郷隊講話）
- クラブ活動補助（理科、三線・琴、パソコンクラブ）
- ライティングタイム（てくてく登校についてのコメント）



4年～6年
パソコンクラブ

◆工夫していること

- 感染症対策を徹底的に行い、活動につなげた。
- オンラインを活用し、海外との交流を行うなど、活動の幅を広げることができた。

◆成果と課題

- 【学】「てくてく登校」の作文に地域の方から多くのコメントを頂き、コロナ禍の中でも児童と地域の方が身近に感じる取り組みができた。地域の方からコメントを読み、大変喜んでいたり児童の登校の様子を文面から知ってもらい取り組みができた。
- △【学】人材リストの整理を行う必要がある。

名護中学校学校運営協議会(名護市)

構成学校	名護中学校				
開始年度	R2 年	登録ボランティア	84 人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	1 人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	名護市教育委員会	連携機関・団体	PTA、区、地域企業、名護青少年の家など	

◆代表的・特徴的な活動

- 交通安全指導、あいさつ運動
- 避難訓練
- 部活動指導
- 農業体験、調理実習、野外炊飯、福祉体験
- てんたばる語れ一会、職業人講話



◆工夫していること

職業人講話など、外部からきていただき、室内で行う活動は密を避けるため、オンラインによる講話形式にした。

(校内からと、直接職場からの配信のとおりで実施) 全学年 てんたばる語れ一会

◆成果と課題

○【学】コロナ禍だが、語れ一会を含め地域の方々からの貴重なお話や体験活動への協力を得られ、生徒にとって大変学びの多い時間が作られている。

△【学】一昨年まで実施されていた様々な行事や地域との連携した取り組みが実施できず、職員や保護者の入れ替わりもあるため、連携した協力体制の再構築が必要である。

羽地中学校区学校運営協議会(名護市)

構成学校	真喜屋小学校 羽地小学校 稲田小学校 羽地中学校				
開始年度	R3 年	登録ボランティア	279 人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	0 人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	教育委員会	連携機関・団体	保護者、区、羽地支所、美ら島財団、社会福祉協議会、JA、博物館	

◆代表的・特徴的な活動

- 登校時安全指導、あいさつ運動
- 朝の読み聞かせ(稲田小、羽地小)
- 総合学習・地域学習・平和学習、稲作体験
- 源河川調査(真喜屋小)ダム学習(真喜屋小、稲田小)、
- ウミガメ学習(稲田小)
- エイサー、獅子舞、地謡、チョンダラー指導
- 部活動指導(野球) ○プール学習の見守り



羽地中学校1年生 平和学習

◆工夫していること

- 昨年の取り組みを学年ごとで先生方が丁寧に引継ぎ、スムーズに協働活動につなげる様、情報共有を行った。
- 感染症対策を徹底的に行い、できる限り活動につなげた。

◆成果と課題

○【学】多くの方々に関わって頂いていることで、学校職員も積極的に地域に関わろうとする意識が付いてきている。(羽地中)

○【学】少人数の学校では施設で受け入れをして頂き、充実した活動ができた。

○【本部】新しい人材が発掘できた。(羽地中)

△【本部】対面でしかできない活動に関しては中止にせざるを得なかった。

東江中学校区学校運営協議会(名護市)

構成学校	東江中学校 東江小学校 瀬喜田小学校				
開始年度	R3 年	登録ボランティア	329 人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	0 人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	名護市教育委員会	連携機関・団体	PTA、区、民生員、博物館、名護漁港、NPO 団体、オリオンビール、名護商工、など	

◆代表的・特徴的な活動

- 朝の見守り ○交通安全指導
- 環境整備、PTA作業、運動会準備
- 放課後学習支援教室、
- 課題解決型授業 ○部活動指導
- 音楽授業補助、体育授業補助、家庭科授業補助
- 地域講話、地域巡り、キャリア講話
- 地域自然体験学習、魚焼き体験、エイサー演舞指導



◆工夫していること

- 校外へ出る学習はコロナ禍の中ではリスクとなるため、4年生 幸地川について専門的な講師を校内にお呼びし、徹底した感染症対策を行ったうえで体験活動を継続する工夫を行った。
- 校内に地域の方に来ていただく授業では別室からのリモートで感染症対策を行った。

◆成果と課題

- 【本部】コロナ禍の中でも感染症対策を行い、多くの活動を行うことができた。
- 【学】キャリア教育の充実を図ることができた。(東江中)
- △【学】コミュニティ・スクールを意識した取り組みが十分にできなかった。(東江小)

大宮中学校区学校運営協議会(名護市)

構成学校	大宮中学校 大宮小学校				
開始年度	R3 年	登録ボランティア	189 人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	1 人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	名護市教育委員会	連携機関・団体	PTA、OB、区、民生員、社会福祉協議会など	

◆代表的・特徴的な活動

- 朝の交通安全、あいさつ運動
- 朝の読み聞かせ
- 部活動指導 ○職業人講話
- 福祉体験学習
- 体験学習のマイクロバス送迎



朝の読み聞かせ

◆工夫していること

- 新型コロナウイルス感染対策の徹底により、学校内に講師を呼び、活動につなげることができた。
- コミュニティ・スクールとしての協働活動であることを意識、共有した。

◆成果と課題

- 【本部】子どもたちのためにボランティアをしたいという地域の思いを伝え、活動後に情報交換を学校と行う良いきっかけとなった。(大宮中)
- 【学】学校を良くしたいという思いを持った方々と触れ合うことで、児童の笑顔が多くなった。
- △【学】学校からもっと地域の方を積極的に授業に活用できるよう計画する。(大宮小)
- △【学】地域の声をもっと拾える様アンテナを張る。(大宮小)

糸満中学校区地域学校協働本部(糸満市)

構成学校	糸満中学校 糸満小学校 糸満南小学校				
開始年度	H24 年	登録ボランティア	41 人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	1 人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	教育委員会	連携機関・団体		

◆代表的・特徴的な活動

- ・職業人講話(糸満中)
生徒へのアンケートにより興味のある職業を選択。
農業、漁業、美容、教師、公務員(市役所)、建築士、
マンガ家、運航支援者、ゲームクリエイター、動物関係など
幅広くご協力いただきます。

◆工夫していること

- ・打合せを大切にする先生が担当のため、定期的に足を運んでいます。
- ・初参加のボランティア講師の方々には、不安にならず前向きに参加していただける様に大まかな流れを紹介したり、提案をさせていただいています。

◆成果と課題

- 【成果】今回多くは市内からの参加なので、生徒たちには地元を知る良い機会になると思います。
- 【課題】ゆくゆくは、専門知識を生かして小学校で授業にお招きできる様整えたいです。

兼城中学校区地域学校協働本部(糸満市)

構成学校	兼城中学校 兼城小学校				
開始年度	H23 年	登録ボランティア	25 人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	0 人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	教育委員会	連携機関・団体		

◆代表的・特徴的な活動

- ・職業インタビュー(兼城小)
教師、アナウンサー、漫画家、
建築士にご協力いただいた。



◆工夫していること

- ・先生方との定期的な顔合わせおよび要望ヒアリング。
- ・他校区担当コーディネーターとの連携および情報交換。
- ・PTA組織との協働による学習機会の拡充。
- ・活動後、ボランティアの方々からのご意見聴取および学校への申し送り。

◆成果と課題

- 【成果】専門的な知識と経験を持つ講師、ボランティアにより、児童の深い学びと理解に繋がった。/ 事前連絡や調整など、教員の負担が軽減された。
- 【課題】特定のボランティアさんに頼る事も多い為、より幅広い人材の協力と確保が必要(ながら難しい)。

高嶺中学校区地域学校協働本部(糸満市)

構成学校	高嶺中学校 高嶺小学校				
開始年度	H26 年	登録ボランティア	18 人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	1 人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	教育委員会	連携機関・団体		

◆代表的・特徴的な活動

・PBL授業(課題解決型学習)(高嶺中)
今年度は2・3年生が実施。2年生は、企業(2社)より課題を提示していただき、各チームで課題についての解決策を考え、プレゼンしました。3年生は、出前講座を活用して市役所の4部署から課題を提示してもらい、提案書を作成しています。



◆工夫していること

国語や総合の時間を使い、PowerPointなどを使用しプレゼンをしています。また、昨年以上にPBLを理解してもらうために、2学年の先生方向けの講習会を設定しました。

◆成果と課題

2年連続で実施していますが、最終プレゼンをして終了しています。プレゼンのその後はどうなっているのか、どうすべきか、を考慮しなくてはなりません。また、去年の資料等をまとめて保管用として作成していないので、今年度は2・3年生の資料をまとめて、冊子等を作ります。

三和中学校区地域学校協働本部(糸満市)

構成学校	三和中学校 真壁小学校 米須小学校 喜屋武小学校 大度分校				
開始年度	H23 年	登録ボランティア	27 人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	1 人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	教育委員会	連携機関・団体		

◆代表的・特徴的な活動

- ・習字サポート(米須小)
- ・社会見学(地下ダム)(米須小)
- ・クラブ活動(真壁小)



◆工夫していること

- ・事前打合せ(なるべく会ってお話をしている)
- ・各地域の役員等と連絡を取り、学校と地域の連携が取れるようにしている。

◆成果と課題

【成果】コロナ禍でも少しずつ活動することができた。
【課題】若い世代の方や老人会の方と交流を持ち、ボランティアにつなげたい。/ コーディネーターのさらなる配置。

西崎中学校区地域学校協働本部(糸満市)

構成学校	西崎中学校 西崎小学校 光洋小学校				
開始年度	H23 年	登録ボランティア	53 人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	3 人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	教育委員会	連携機関・団体		

◆代表的・特徴的な活動

- ・クラブ活動（琉舞、三味線、生け花、将棋、しまくとば、ダンス）（光洋小）
- ・5年生の「高齢者福祉」について地域デイサービス事業所職員による講話や一般介護予防施設「願寿館」の見学（光洋小） ・ミシンボランティア（西崎小）
- ・南部商業高校生によるマナー講座（西崎中）
- ・職業人講話&体験（観光業、農業、建設業、水産業など地域を中心に13職種27人）

◆工夫していること

- ・学校側のニーズを講師の先生へ事前に伝え双方にギャップがないようにするため、できれば事前打ち合わせを行う。
- ・参加するボランティアさんの活動がスムーズに行えるように、学校の要望を文章で確認できるようにする。
- ・他校区のコーディネーターと情報交換共有する時間を少なくとも月に一度作っている。

◆成果と課題

【成果】昨年から引き続きのコロナ禍の中ではあったが、学校と蜜に連絡を取り合いこれまではない大規模な職業講話体験が実施できたこと。/今年度より中学校区の2小学校にもそれぞれ担当のコーディネーターが配置され、お互いに協力しながら活動することができた。【課題】学校の支援にとどまらず、学校と地域が協働できる働きかけが必要。/地域学校連携協働活動の周知。/依頼時のみではなく学校との定期的な顔合わせ。

潮平中学校区地域学校協働本部(糸満市)

構成学校	潮平中学校 潮平小学校				
開始年度	H23 年	登録ボランティア	25 人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	1 人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	教育委員会	連携機関・団体		

◆代表的・特徴的な活動

- ・平和学習（潮平小）
- ・習字サポート（潮平小）



◆工夫していること

- ・事前打合せを行い、学校の要望と地域講師の要望をすり合わせている。

◆成果と課題

【成果】コロナ禍でもできる活動を、学校と相談して実施できた。
【課題】地域コーディネーターの活動の周知をさらに行う必要がある。

越来小学校区地域学校協働本部(沖縄市)

構成学校	越来小学校				
開始年度	令和3年	登録ボランティア	43人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	1人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)の配置場所	越来小学校	連携機関・団体	自治会・長寿会・育成会・青年会		

◆代表的・特徴的な活動

- ・毎朝地域の方による交通安全指導、あいさつ指導を兼ねた見守りをおこなっている。
- ・月・水・木曜日「朝の学習」の漢字ドリルや算数プリントを、地域の方や保護者が丸付けサポート。
- ・毎月1～2回「あさぼらけ」による読み聞かせ。
- ・各自治会長を集めての情報交換会
- ・運動会前に青年会によるエイサー指導や運動会本番での地謡演奏。
- ・越来小スポーツ少年団との情報交換会



青年会の方によるエイサー指導

◆工夫していること

- ・ボランティアの方と情報交換会を持ち交流を図る。
- ・学校と交通安全指導の方との情報交換会を行っている。
- ・各自治会へ学校便りを配り学校の取り組み、児童の様子、行事や美化作業日程などを周知したり地域ボランティアの参加を呼びかけたりしている。
- ・ボランティアの方を感謝集会へお招きし、児童から感謝状とプレゼントを贈呈している。

◆成果と課題

- 【本】朝の交通安全・あいさつ指導の見守りで、児童の登校安全確保に貢献している。
- 【学】丸付けボランティアや読み聞かせの活用により、児童の基礎学力や集中力が向上した。
- 【学】各ボランティア活動を行っている方へ感謝週会を通し、児童から感謝の気持ちを伝えることができた。
- △【本】コロナ禍での感染症対策を行った効果的な活動の方法。

コザ小学校区地域学校協働本部(沖縄市)

構成学校	コザ小学校				
開始年度	平成21年	登録ボランティア	66人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	1人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)の配置場所	コザ小学校事務室	連携機関・団体	自治会・子ども会		

◆代表的・特徴的な活動

- ・朝の読み聞かせメルヘンタイム(第1・3木曜日)
- ・朝の交通安全指導
- ・火曜日朝の学習サポート丸つけ
- ・学校行事への協力、学習支援、環境整備など
- ・ふれあい農園の運営



◆工夫していること

- ・保護者へ「ボランティア募集要項」を配布してボランティア募集を行っている。
- ・学習サポートや読み聞かせのスケジュール表を全保護者へ配布している。
- ・活動後にボランティアの皆さんと情報交換会をもつ。
- ・交通安全指導の各担当場所の調整や長期休暇前には挨拶状を配布している。
- ・ふれあい農園の植え付け収穫など、子どもたちと地域・保護者の関係者が集まる場の工夫を行う。

◆成果と課題 (○成果 ▲課題)

- 農園の活動において子どもたちが野菜等の植え付けから収穫まで、貴重な体験をすることができた。また、子どもたちと地域の方々のよいふれあいの場となっている。
- ▲コロナ禍の影響で年間計画を大幅に変更せざるを得なかった。ボランティアの裾野を広げ、より地域と連携した充実した活動に高めていきたい。

中の町小学校区地域学校協働本部(沖縄市)

構成学校	中の町小学校				
開始年度	平成21年	登録ボランティア	100人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	1人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	(の配置場所)	中の町小学校 事務室	連携機関・団体	PTA・自治会・民生員・婦人会・老人会・青年会・育成会	

◆代表的・特徴的な活動

- ・毎朝の交通安全指導（老人会、保護者、地域住民）
- ・下校時の見守り（婦人会、上地竹の会）
- ・環境美化（地域住民、保護者）
- ・朝の読み聞かせ
- ・運動会エイサー演舞の指導、三線地謡（中の町、諸見里青年会）



◆工夫していること

- ・毎月婦人会・老人会の福祉連絡会に参加し、情報交換を行っている。
- ・読み聞かせボランティア終了後交流の場を設けて、ボランティア同士の情報交換を行っている。
- ・定期的に自治会へ訪問し、地域の方との交流を図り学校への協力体制を深めることに努めた。



◆成果と課題

- 【推】コロナ禍で学校内へのボランティア受入れが出来なかったが、年末から読み聞かせを始める事が出来、沢山のボランティアが快く協力してくれた。
- 【学】毎朝の交通安全の見守りで子ども達の登校時の安全面への配慮ができ助かった。
- △【推】新たな保護者や地域の方へのボランティア周知をしていきたい。

安慶田小学校区地域学校協働本部(沖縄市)

構成学校	安慶田小学校				
開始年度	H20年	登録ボランティア	96人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	1人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	(の配置場所)	安慶田小学校	連携機関・団体	自治会・老人会・PTA・(株)松幸	

◆代表的・特徴的な活動

- ・環境美化作業（毎朝の校内清掃、畑や花壇への水やり、土日の餌やり、運動場整備等）
- ・朝の交通安全指導とあいさつ運動
- ・低学年のプール学習見守り ・ミシン学習の見守りお手伝い



◆工夫していること

- ・毎年保護者、自治会（地域）にボランティア募集要項、登録用紙を配布するなど、高所作業車による剪定作業広く募集の周知を行っている。
- ・推進員が定期的に自治会を訪問し、学校と地域の連携に努めるために情報交換等を行っている。
- ・地域連携掲示板へ募集内容やメンバーの紹介、活動内容等の写真を掲示している。
- ・学校メーリングSNS等を利用してボランティア募集を呼び掛けている。
- ・中学校区(安慶田中・室川小)の推進員と情報共有等の情報交換会を行っている。
- ・感謝集会で日頃の感謝を児童から伝えるとともに、学期の節目やボランティア活動後にお礼状を作成し、学校行事予定表と一緒に配布している。

◆成果と課題

- 【学校】交通安全・あいさつ運動の継続で、登校時の安全面への配慮ができた。
- 【推進員】学校メーリングSNS等を利用することで、ボランティア活動への保護者の参加が増えた。
- 【推進員】定期的に自治会への訪問を行う事で地域の方の情報等を得る事ができ、協力を得ることができた。
- △ 地域連携室や空き教室がないため、ボランティア同士の十分な打合せや交流などができない。
- △ コロナの影響で活動が縮小・制限されている。

諸見小学校区地域学校協働本部(沖縄市)

構成学校	諸見小学校				
開始年度	平成21年	登録ボランティア	19人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	1人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)の配置場所	ミーティングルーム	連携機関・団体	自治会・婦人会・青年会・老人クラブ		

◆代表的・特徴的な活動

- ・朝の交通安全指導
- ・環境美化
- ・学校行事への協力
- ・朝の読み聞かせ
- ・給食感謝祭



◆工夫していること

- ・ボランティアの方々に、児童から感謝の言葉を添えてハガキを送る。
- ・地域の方との情報交換



◆成果と課題

- ・新型コロナウイルスの状況を見ながら、少しずつ活動が再開できたものと、引き続き休止のまま、再開できない活動があった。今後も学校と連携しながら慎重に進めていきたい。

鳥袋小学校区地域学校協働本部(沖縄市)

構成学校	鳥袋小学校				
開始年度	平成21年	登録ボランティア	46人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	1人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)の配置場所	鳥袋小学校 事務室	連携機関・団体	久保田自治会・青年会 エディブルスクールヤードジャパン		

◆代表的・特徴的な活動

- ・登校時交通安全見守り(地域)
- ・花植えボランティア(地域:島フラワー)による花壇の手入れ
- ・放課後居場所づくり(鳥っ子フラダンス教室/鳥っ子エディブル教室)
- ・食育活動(放課後教室自然農園/鳥っ子農園/鳥っ子みそ作り)
- ・繁多川オーヒグーの栽培を始めた、今後収穫した大豆で豆腐やみそ作りの予定
- ・学校行事への協力(久保田青年会による運動会エイサー指導・地謡・衣装着付け)
- ・新年書初め会での書道指導(地域)



◆工夫していること

- ・自治会の行事に参加して、情報交換しながら子供たちと地域の交流機会を設ける。
- ・参観日や学校行事等で、積極的に保護者に話しかけ繋がりをつくっている。
- ・無農薬栽培、無農薬料理の専門家との定期的な意見交換会をおこなっている。



◆成果と課題 (○成果 ▲課題)

- 【学校・コ】コロナ対策を講じながら、学校・家庭・地域の取り組みを推進できた。
- 【学校・コ】農園講座の土作りから始まり、野菜を育て、みそ作りまで行い、児童の豊かな体験活動へつながり、食への関心が向上した。
- △【学校】コロナ禍のため、取り組みによっては人数や活動の制限があった。

山内小学校区地域学校協働本部(沖縄市)

構成学校	山内小学校				
開始年度	H20 年	登録ボランティア	85 人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	1 人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	山内小学校 事務室	連携機関・団体	自治会・老人会・シルバー人材センター・社会福祉協議会等	

◆代表的・特徴的な活動

- ・学校行事補助【運動会エイサー地謡、指導】
- ・学習支援活動【水泳指導補助、個別学習支援、朝の読み聞かせ】
- ・環境美化整備活動【草刈り、樹木剪定、教材園の耕作】
- ・登下校の安全支援【毎朝の登校見守り、毎週(月・水)下校見守り】



◆工夫していること

- ・学校ホームページを活用し、事業内容を周知した
- ・参観日に保護者に向けて事業への理解と参加協力のチラシ配布をした
- ・ボランティア募集の印字された封筒を自治会とPTAへ配布した
- ・感謝集会へボランティアを招待し、児童手作りの感謝状とプレゼントで日頃の感謝を伝えた



◆成果と課題

- ・○【学】担任の手の届かない部分のサポートをして頂く事できめ細かい指導につながり、学習内容が深まった。
- ・○【ボ】創立記念事業に向けて環境美化活動のネットワークが充実してきている
- ・△【学】コロナ禍で協力依頼をしづらく児童と一緒にの作業等ができなかった
- ・△【コ】多様なニーズに対応できるようにボランティアの拡充をしていきたい

北美小学校区地域学校協働本部(沖縄市)

構成学校	北美小学校				
開始年度	H23 年	登録ボランティア	81 人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	1 人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	北美小学校	連携機関・団体	地域	

◆代表的・特徴的な活動

- ・校内美化
- ・安全ボランティア



◆工夫していること

- ・安全ボランティアさんは、新型コロナウイルス感染対策により前半は活動を控えていただきました。出来る範囲内の活動、健康状態の確認等マスク着用・手洗い・消毒を徹底しています。
- ・美化作業は北美小学校OB、地域の方々が、定期的に声掛けして集まって来ています。

◆成果と課題

- 【ボ】美化作業にOBの方々が少人数で定期的集り感染防止を徹底できました。
- 【推進員】読み聞かせ・学習ボランティアが活動できませんでしたが、来年度は活動できそうです。

美里小学校区地域学校協働本部(沖縄市)

構成学校	美里小学校				
開始年度	H20年	登録ボランティア	29人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	1人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	美里小学校	連携機関・団体	自治会・子ども会	

◆代表的・特徴的な活動

- 朝の交通安全指導・見守り
- 朝の読み聞かせボランティア(毎週月曜日)
- 環境美化ボランティア(畑・花壇手入れ・木の剪定・草刈り)
- 地域学習・平和学習等の講師(第3学年社会科授業等)



◆工夫していること

- 常にボランティアとの情報交換・交流を行っている。
- 地域自治会を訪問し情報交換したり・ボランティア啓蒙活動を行ったりしている。
- PTA事務を兼ねて居て、学校と緊密に連携をとっている。
- 朝の読み聞かせは、毎回2学年(10クラス)に決めて、確実にボランティアを配置できるようにしている。

◆成果と課題 (○成果 ▲課題)

- 【コ】常時、畑・花壇の手入れ・草刈り作業に関わっている方がおり、環境美化が充実している。
- 【コ】他校の推進員やボランティアとの連携を取り、読み聞かせボランティアが増えた。
- 【学】読み聞かせ・クラブ活動・学習活動等での人材活用ができた。
- △【コ】PTA事務も兼ねている為、ボランティアとの交流時間が限られている。連携室の使用が難しい。
- △【学】地域人材について、人材リストの作成が必要である。

美東小学校区地域学校協働本部(沖縄市)

構成学校	美東小学校				
開始年度	H20年	登録ボランティア	76人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	1人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	美東小学校事務室	連携機関・団体	PTA・自治会・子ども会	

◆代表的・特徴的な活動

- ・登校下校いつでも見守り
- ・自治会、子ども会と連携
- ・学習支援(書写指導、太鼓指導、授業見守り・プール見守り・家庭科サポート)
- ・読み聞かせ(ふくろうの会)
- ・運動会演目披露時駐車場案内係(パヤオ広場運動場にて学年ごとに体育参観として実施)



◆工夫していること

- ・コロナウイルス感染予防のため、読み聞かせの時もマスク着用をお願いし、児童が読み手の前に集まらなくてもいいように書画カメラを使用したり大型絵本を読んでもらうことをお願いしている
- ・学校の日程変更のたびに地域の登校下校見守りボランティアにはがきやLineでお知らせをしている
- ・プール見守り、運動会駐車場案内係など天候に左右されるボランティアにはメルポンや電話で連絡をするようにしている



◆成果と課題

- 【学校】読み聞かせなどのボランティアを再開することができた。
- △【学校・推進員】やっと読み聞かせを再開できたがコロナ禍のなかやり方を変えているので、ボランティアにも戸惑いが見える。地域連携室もできたので情報交換をして安全にボランティアが入れるようにしたい。

宮里小学校区地域学校協働本部(沖縄市)

構成学校	宮里小学校				
開始年度	平成20年	登録ボランティア	72人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	1人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)の配置場所	宮里小学校 事務室	連携機関・団体	自治会		

◆代表的・特徴的な活動

- ・朝の交通安全指導
- ・環境美化・ミシン補助
- ・うちなーぐち指導
- ・宿泊学習保安要員
- ・読み聞かせ



うちなーぐち指



交通安全指導

◆工夫していること

- ・感謝の気持ちを込めて、児童会から感謝状を贈呈
- ・地域のボランティアの皆さんに学校の予定をお知らせ
- ・入学説明会の資料にボランティア募集のクリアファイルと文書を同封
- ・校内掲示板にボランティア募集の掲示
- ・ボランティア活動後の情報交換



環境美化

◆成果と課題

- 【ボ・推】自治会やボランティアさんとの情報交換で活動メンバーが増えた。
- △【学・ボ・推】学校に地域連携室や空き教室がなく、ボランティアさんが集まる場所がない。
- △【推】参加者が増えるよう、広報活動を工夫する。

高原小学校区地域学校協働本部(沖縄市)

構成学校	高原小学校				
開始年度	平成21年	登録ボランティア	182人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	1人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)の配置場所	高原小学校	連携機関・団体	自治会・鳥刺舞保存会		

◆代表的・特徴的な活動

- ・学習支援
(読み聞かせ、家庭科授業支援、
校外学習引率補助、水泳授業見守り)
- ・環境整備 ・学校行事への協力
- ・登下校の交通安全指導(地域、保護者)



《読み聞かせ》



《家庭科授業支援》



《鳥刺舞指導》

《水泳学習
見守り》



《春の遠足
見守り》



◆工夫していること

- ・ボランティア活動の輪を保護者のみではなく地域にも広めるため、各自治会にも呼び掛けている。
- ・コロナ禍でボランティア活動・人数の制限される中、たくさんのボランティアの方と関わられるよう声かけ・配置を工夫した。また、情報交換会を行えなかったため、ライン等で情報を交換し活動する際の工夫・改善にいかした。
- ・ボランティア募集横断幕の設置
- ・ボランティア参加者へ感謝の気持ちを伝えるため、児童会を中心に感謝状を作成しお渡しした。

◆成果と課題 (○成果 ▲課題)

- 地域・ボランティアの協力のおかげで、校外活動などの学校行事が安全に行うことができた。
- △ボランティアに参加した方々が、楽しかった。また次回も参加したいと思えるような運営方法の工夫・改善をしていく。また、近隣校のボランティアとの連携をさらに強化していきたい。
- △コロナ禍でボランティア同士の情報交換会を持つことができなかった。